

2019年7月26日

ジェットスター・アジア航空

ジェットスター・アジア航空、沖縄の人気に応え、 沖縄(那覇)＝シンガポール路線の定期便を増便

ジェットスター・アジア航空(本社:シンガポール、CEO:バラタン・パスパティ、以下、ジェットスター・アジア)は、沖縄への旅行需要増加に応じて、現在単独路線として運航中の沖縄(那覇)＝シンガポール路線を2019年10月29日より週4便から5便(往復)へと増便します。

今回の増便により、休暇シーズン中に新たに3,850席が提供されることとなります。エアバスA320型機で定期運航便を運航中の本路線は、就航以来85,000人を超えるお客様にご利用いただきました。

ジェットスター・アジアのグローバル・セールス兼コマース部門統括責任者 ポール・ロンビークは、今回の増便は昨今沖縄が人気の観光地となっていることを反映したものであるとし、次のように述べています。

「沖縄の美しく暖かいビーチを楽しむため、シームレスな乗り換えや利便性を求め、特にチャンギ空港を経由し旅行するマレーシアやインドネシアからのグループ旅行客が増える傾向にあります。

沖縄だけでなく、日本は旅行者にとって引き続き非常に魅力的な旅行先となっています。ジェットスター・アジアを利用して東南アジアから訪れる多くのお客様は、チャンギ空港から日本国内16都市(注1)に就航するジェットスター・ジャパンのネットワークを通じ、日本の美食や文化、歴史に触れることを楽しんでいます」

今回の増便は、利用者の増加が見込まれるシンガポールの学校の休暇を見据えて、冬期運航スケジュールから毎週火曜日(注2)に設定されます。シンガポールを午前2時(現地時間)に出発し、沖縄(那覇)には午前8時10分に到着します。また、復路は沖縄(那覇)を午前9時10分に出発し、シンガポールには午後1時20分(現地時間)に到着します。

ジェットスター・アジアは現在、沖縄(那覇)・大阪(関西)を含む日本路線で週最大28便(往復)運航しています。また、ジェットスター・ジャパンは東京(成田)・名古屋(中部)・大阪(関西)と沖縄(那覇)を結ぶ路線を1日最大9便(往復)運航しています。

■沖縄(那覇)＝シンガポール路線 運航スケジュール

便名	路線	運航曜日	定刻(現地時間)
3K792	沖縄(那覇)＝シンガポール	月、火 ^(注2) 、木、金、日	09:10 発 13:20 着
3K791	シンガポール＝沖縄(那覇)	月、火 ^(注2) 、木、金、日	02:00 発 08:10 着

(注1) 2019年8月1日就航予定の成田＝庄内路線を含みます

(注2) 関係当局の認可を前提としています

【ジェットスター・アジア航空について】

2004年12月に就航したジェットスター・アジアはアジア太平洋地域の13カ国25都市に就航し、週600以上の往復便を運航しています。同社は2017年に、OAGより世界で最も時間に正確な航空会社として、また2017年、2018年、2019年に、AirlineRatings.comより世界で安全なLCC上位10社に選ばれています。